

☆学力テストから分かること☆

4 月に 6 年生対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果を分析し、傾向をまとめたもので

〔よかったところを○、課題のあるところを●で表しています。〕

国語

- 漢字の読み書きやグラフをもとにして答える問題など、答えが明確なものは比較的正答率が高い。
- 登場人物の人物像について、書かれていることをもとにしてとらえることができる。
- 記述問題は無解答率が高い。※特に条件付き（字数・言葉など）の記述問題
- ひらがなで表記された言葉をローマ字で書いたり、ローマ字で表記された言葉を正しく読んだりすることに課題がある。

改善に向けての手立て

優れた文学作品にふれる機会をもっと増やせるようにして、児童の言語環境をより充実させたいと考えています。授業の中で、自分の考えをまとめたり、比較したりする活動を多く取り入れるようにします。また、低学年から文章を書く活動を積み重ねていきたいと思います。児童が楽しみながら書けるように工夫し、書くことへの苦手意識を減らしたいと考えています。

算数

- 計算問題は比較的正答率が高い。
- 三角形の底辺に対応する高さを選んだり、四角形を並べてできる図形を選んだり、図形の問題は比較的正答率が高い。
- 無解答率が全国平均より高い問題がある。
- 理由を「言葉」や「数」を使って説明する問題に課題がある。

改善に向けての手立て

引き続き、授業の始めに基礎的な計算をする時間を設定し、習熟を図ります。既習の内容を復習しながら、新しい問題を自分で解決する時間を十分に確保していきます。問題を解いた過程を図や式で説明したり、交流したりする活動を増やしたいと思います。

児童質問紙

〈学習面〉

- 国語・算数の勉強は大切だと思っており、宿題もしている。
- 国語の授業はよく分かったと答えている児童が多い。
- 好きな授業があると答えている児童が多い。
- 家庭で、自学自習・予習復習をしている児童は少ない。
- 新しい課題に取り組むときに、途中で諦めてしまう児童が多い。
- 授業で発表の機会が多くあったと答えている児童は少ない。

〈生活面〉

- 将来の夢や目標を持っている児童が多い。
- 読書が好きである。
- テレビやゲーム、携帯電話などの端末を長時間使っている児童が多い。
- 寝る時間が遅い児童が多い。
- 自己肯定感が低い児童が多い。

自己肯定感って？

「自分は大切な存在だ」「自分はかけがえのない存在だ」と思える心の状態

自己肯定感が低いと自信が持てず、他人にどう見られているか気になり、他人の言動に過敏に反応してしまうとされています。

改善に向けての手立て

朝読や黙想（立腰）を引き続き行っていきます。静かな時間から1日を始め、心を落ち着かせて下校できるよう取り組みます。

児童の自ら進んで学習する習慣をつけるために、自主学習ノート（JTKノート）に引き続いて取り組んでいきます。また、家庭学習週間（JTKウィーク）を設定し、家庭学習の時間を確保できるようにしたいと考えています。

また、児童の自己肯定感が高められるように、児童が活躍できる場を設定し、教師が認めたりほめたりできる機会を増やせるように日々努めていきたいと思います。

ご家庭でも、裏面の家庭の手引きをご覧ください、ご協力いただければありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。